

奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター（奈良県保健研究センター内） *Nara IDSC*

今週の概要

■ 第39週の感染症情報

⊕ 第39週の感染症情報（9月23日(月)～9月29日(日)）

奈良県および医療圏別発生状況（奈良県上位5疾患）（5週間からの動向）

順位	疾患	定点当り	奈良県	北部	中部	南部
1	感染性胃腸炎	1.71	→	→	→	→
2	手足口病	0.94	↓	↓	↓	→～↑
3	RS ウイルス感染症	0.65	→～↑	↑	→～↑	→
4	水痘	0.44	→	→	↑	↓
5	A群溶連菌咽頭炎	0.29	→	↓	↑	↓

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数（38→39週）は82→69例と推移した。上位5疾患は、①感染性胃腸炎（20→23例）、②手足口病（26→19例）、③水痘（15→9例）、④RS ウイルス感染症（5→6例）、⑤突発性発しん（4→4例）、眼科定点の報告は流行性角結膜炎が3例あった。基幹定点の報告はなかった。

（有山 記）

県中部地区概況 報告数は83例で、前週報告の84例とほぼ横ばい。上位5疾患は、①感染性胃腸炎、②RS ウイルス感染症、③手足口病、④A群溶連菌咽頭炎、⑤水痘の順。A群溶連菌咽頭炎の報告数（9例）は、やや増加。水痘の報告数（6例）も、やや増加。感染性胃腸炎の報告数（30例）は、横ばい。RS ウイルス感染症の報告数（12例）は、一転して半減。手足口病の報告数（10例）は、第33週より連続での減少。桜井HC および葛城HC 両管内基幹定点と眼科定点からの報告、すべてなかった。

（村井 記）

県南部地区概況 報告数（38→39週）は28→15例と減少。報告のあった疾患は、①感染性胃腸炎（6→5例）、②RSウイルス感染症（16→4例）、③手足口病（0→3例）、④流行性角結膜炎【眼科定点】（1→2例）、⑤ヘルパンギーナ（1→1例）であった。

（柳生 記）

感染症情報センターホームページ

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm>

